

専門分野 I 基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	基礎看護方法Ⅳ 1単位 30時間		
開講時期	1年次前期		
担当教員	亀山美穂	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>基礎看護学では「看護の対象及び健康、看護の機能・役割について理解し、看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ」ことを目的とし、基礎看護方法では看護の対象者が日常生活に援助が必要となった場合の援助技術の基礎を学ぶものとしている。</p> <p>基礎看護方法Ⅳでは環境・活動・休息に伴う援助について考える。先ず環境について、入院生活は集団生活であり、治療の場でもあるため、個々の患者にとって少しでも生活しやすく、快適な場であるように環境を整えることが重要である。次に活動について、看護による活動の援助は、ただ単に人の動きを助けるだけでなく生活を整えるための援助であるといえる。更に休息については、疲労の回復方法としての休息の種類の中なかで特に安静と睡眠は重要である。ここでは、対象の健康・生活を支える環境・活動・休息のニーズを充足するための援助技術の基礎を学び、演習・実習で実践する頻度の高い援助技術を体験することで更に学びを深めるものとした。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 環境調整の意義・視点・アセスメント	講義	
2回目	1. ベッドメイキング①（ベッド周囲の環境について）	講義・デモンストレーション	
3回目	1. ベッドメイキング②（ベッドメイキングの実際）	演習	
4回目	1. リネン交換（患者が寝たままで行うリネン交換）	講義・デモンストレーション	
5回目	1. リネン交換の実際	演習	
6回目	1. 日常生活における活動の意義 2. 活動のアセスメントと援助の実際 3. ボディメカニクス	講義・デモンストレーション	
7回目	1. 移動・移乗・移送の援助	講義・デモンストレーション	
8回目	1. 技術試験（リネン交換）	技術試験	
9回目	1. 移動・移乗・移送の援助 1) ストレッチャーの基本操作 2) 歩行介助の方法	講義・デモンストレーション	
10回目	1. 移動・移乗・移送の援助 1) 車椅子の移乗と移送の実際	演習	
11回目	1. 安静がもたらす影響	講義	
12回目	1. 技術試験（体位変換・移乗・移送）	技術試験	
13回目	1. 睡眠と休息	講義	
14回目	1. 睡眠と休息 援助の実際	講義	
15回目	1. 終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 60%・技術試験 40%		
受講生に対するメッセージ	講義が中心ですが、演習も含まれます。技術試験については合格点に到達するまで繰り返し実施します。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
参考書			